

## 「立候補意思表明書」

内田孝也です。早いものでJHFの理事になってから、あっという間に2年が経ってしまいました。伝統あるスカイスports統括団体としての活動は、日本のNACである（財）日本航空協会との連携で保持されており、理事そして会長としての仕事の多くは、それらの過去に倣うものとなります。反面では、愛好家減少の現実の前で、古いやり方を踏襲しているままでは、財務効率が健全化されません。短い期間と感じましたが、まずは当たり前のことが、当たり前にできる組織となるよう目指してまいりました。

包み隠さずに申せば、一般企業のサラリーマンをしながら、この仕事を何年も続けるのはとても大変なことだと、身に染みて実感しております。自由に空を楽しむという、この素晴らしいスカイスportsを守り育ててくれた先達への恩返しであると、理想を申し上げて理事一期を務めさせていただきましたが、どれほど力が出せたのか心配もあります。

これまで教員更新制度の再建、MPG技能証の整合性、リパック認定証の制度化などを手がけ、社団法人の存立根拠となる新法人三法への対応を進めてきています。事務局財政の圧縮に努め、賠償保険金支払いの急膨張には新たな対策と交渉が必要になりました。

二期目にあたる2009年JHF役員選挙には、見習い期間を過ぎ、上記体験からの相当な覚悟を持って、いま少しのJHFの改革とすべてのフライヤーの為の組織活動に貢献することを約束し理事に立候補させていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。